

# 物語の内ようを読み取る

ねらい

●場面の様子や登場人物の様子を思いえがく。

名前	組 番		月 日	正答数
				3

## 問題

次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

〔陽子(六年生)は地域の卓球クラブの選手。そこに美月(中学一年生)が入部した。美月は卓球をやめたことがあり、陽子は、美月がまたやめるのではないかと思っている。ある朝、陽子は先輩の広海にさそわれて公園に行った。〕

「見せたいものがあるんだ。だまってる。」

「え、なに。」

広海先輩がそれっきり答えず、すべり台のかけからブランコの方角を見ているので、陽子は広海先輩の背中を見えることにした。こうやってすぐそばに立つと、ずいぶん背が高くなったんだな、と思う。陽子も百五十五センチあって、クラスの女子では後ろから三番目なのだけれど、広海先輩は百七十七センチ近くあるみたいで、顔の位置が全然違う。

「来た。つーか、トイレの後ろにかくれたほうがよかったな。ここだとバレるかも。もう遅いけど。」

ひとりごとを言いながら、広海先輩はしゃがみこんだ。

「あ……。」

陽子もしかがみかけたのだが、途中でストップしてしまった。来たのは、美月ではないか。白のびたびたのTシャツを着て、髪の毛をぎゅっとおだんごにして、上半身だけ見たら、バレリーナみたいだ。下はトレパンだけれど。

美月はブランコの横にあるベンチに陣取った。背中にしよっていたリュックをそこに置いて、中からなわとびを取り出した。ぶんぶんぶんと、とびはじめる。最初は二重とび、その後、ハヤブサとび、最後は三重とびをやって、失敗したところで、リュックから今度はタオルを出して、顔をふいている。そして、次に取り出したのは卓球のシェイクハンドのラケットだった。

シュッシュシュ。まずはフォアハンドの素振り。続いてバックハンド。四回に一回はバックハンドスマッシュで、大きく振りぬいている。

「あいつさ、クラブに入部してから、毎日ずっとやってるんだ。ひとり朝練。」

※注 1 シェイクハンド：ラケットのにぎり方の一つ。

2 フォアハンド：ラケットを持つ手の側に来た球を打つこと。反対側に来た球を打つのが「バックハンド」。

(吉野万理子「チームみらい」より)

▼読解のポイント①◆

① だが、どこで、何をしているのかをとらえよう。

・ 場所Ⅱ公園(すべり台とブランコがある。)

・ 登場人物Ⅱ広海・陽子・美月

広海：「すべり台のかけからブランコの方角

を見ている」

陽子：「広海先輩の背中(せなか)を見ることにした」

「すぐそばに立つ」

←その後、だれかが「来た」。

広海：「しゃがみこんだ」

陽子：「しゃがみかけた」

←そして

陽子：「途中でストップしてしまった。来たのは、美月ではないか」

↓広海がしゃがんだので、美月のすがたが陽子に見えた。

広海と陽子は、  
すべり台のかけに  
かくれている。

前に立っていた広海が先にしゃがんだ。

(1) ① こことはどこですか。文章中から七字でぬき出しましょう。

(2) ② 途中でストップしてしまったとありますが、このとき、陽子はどういうことに  
気づいたのですか。書きましょう。

▼読解のポイント②◆

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ 登場する人物の様子や行動を表す言葉に注目しよう。

【美月の様子】

服そう：「白のぴたぴたのTシャツ」「下はトレパン」

リュックから取り出したもの

① なわとび 「二重とび……三重とび」

② タオル 「顔をふいている」

Ⅱあせをかいだ。

③ ラケット 「フォアハンドの素振り……」

美月は、ひとりで  
朝練をしている。

(3) 見せたいものがありますが、広海は陽子に何を見せたかったのですか。  
次の文の□□にあてはまる言葉を文章中からぬき出しましょう。

□□ が、ひとりで真けんに

□□ をしている様子。

物語の内よつを読み取る



- (1) すべり台のかげ  
(2) 例 美月が公園に来たこと。  
(3) 美月・朝練

- (2) あとに「来たのは、美月<sup>みづき</sup>ではない  
か」とあります。  
(3) 最後に広海<sup>ひろみ</sup>が「あいつさ、……毎日  
ずっとやってるんだ。ひとり朝練」  
と言っています。